

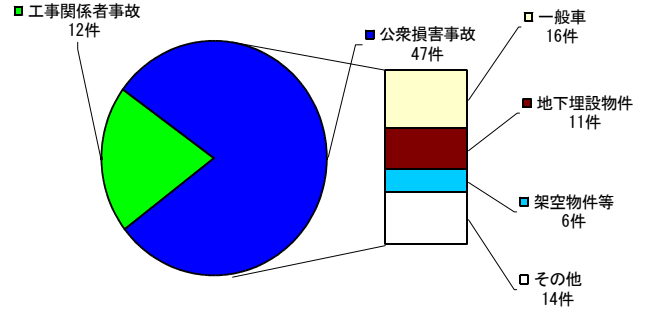
事故発生件数の約 2 割が地下埋設物件！

平成 1 6 年度の 1 0 月末現在で直轄請負工事における事故発生件数（速報値）は、5 9 件となっております。

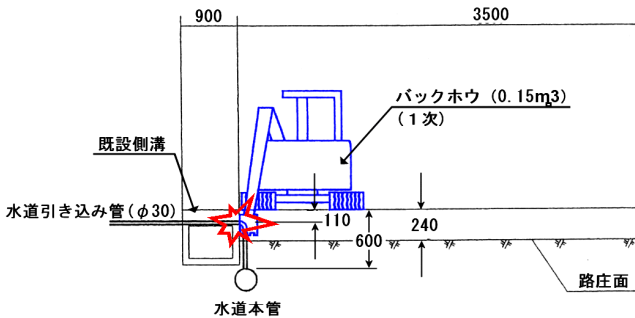
このうち、事前調査不足やヒューマンエラー等による地下埋設物件の事故が 1 1 件発生しており全体の約 2 割を占めています。

過去の事例で考えられる防止対策を紹介するので、掘削作業や道路維持修繕工事を行う現場においては、安全管理を再確認し事故防止に努めて下さい。なお、事故件数が昨年同期に比べ 1 5 件も増加しており、今一度、安全管理の徹底をお願いします。

事故種別発生件数

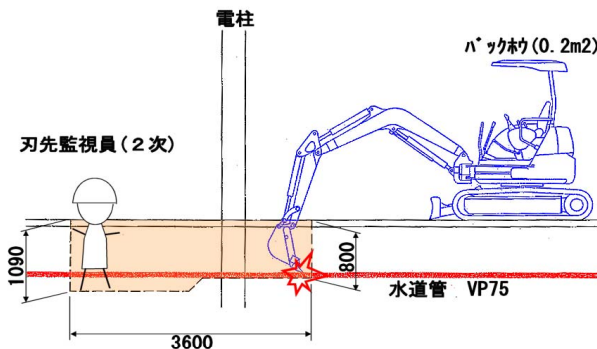


【事例 1】埋設図等による調査・確認不足だった事故



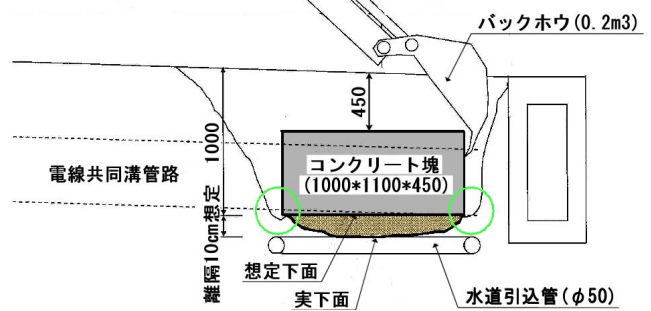
水道引き込み管は、水道メーター・止水栓の付近にあるものと思い込んでいたため、既設側溝際にあることに気付かず作業を進め、バケットで引っ掛け損傷させるという事故が発生しました。事故の原因は、**現場状況から引き込み管が無いものと思い込み作業を進めたこと**によるものです。掘削作業を行う場合は、道路占用台帳・埋設図等の事前確認が必要です。

【事例 2】作業員が作業手順を守らなかった事故



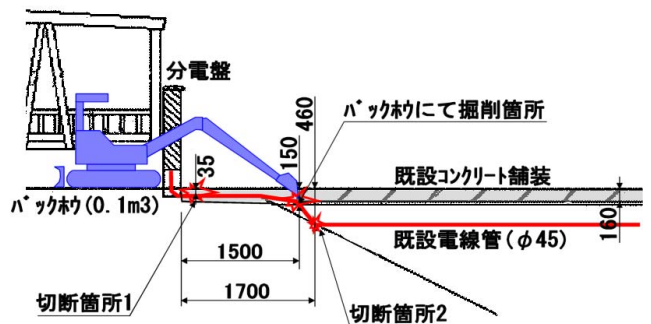
手掘りにより水道管を露出させた後、バックホウで発生土砂を取り除いていたところ、バケットが水道管に接触しひび割れるという事故が発生しました。事故の原因は、**バックホウ運転手が勝手に作業（土砂の運び出し）を進めたこと**によるものです。埋設物との接触防止のために、刃先監視員を配置した場合は、刃先監視員とバックホウ運転手とが確実に連絡を取る必要があります。

【事例 3】元請に指示を仰がなかった事故



埋まっていたコンクリート塊が人力では動かせなかったため、バックホウを用いて少し動かしたところ、水道引込管が圧迫され破損するという事故が発生しました。事故の原因は、**支障となるコンクリート塊を安易にバックホウで撤去しようとしたこと**によるものです。作業中に不測の事態が生じた場合は、元請へ指示を仰いで適切な作業方法を検討する必要があります。

【事例 4】現場周辺の調査・確認不足だった事故



歩道のコンクリート舗装版をバックホウで取壊していた際、舗装版の中に埋設されていた管をバケットで引っ掛け、電力線を切断するという事故が発生しました。事故の原因は、現場で**分電盤の存在を確認していたが、使用されていないものと勝手に判断した**ことによるものです。現場周辺に管理者不明な設備等があった場合は、管理者を調査して作業による支障の有無を確認する必要があります。

地下埋設物件損傷事故の防止対策！

各事務所に右の様な事故防止のためのパンフレットを送付していますので、特に該当工種のある工事等は、是非目を通して頂き、一層の安全対策の徹底を図るようお願いします。

【パンフレットの内容】

『頭上にも、地下にもトラブルのもとがあります』

公衆災害事故で近年多発の傾向にある建設機械等で架空線を切断した事故及び地下埋設物件を損傷した事故の事故防止についてのパンフレットです。

架空線や地下埋設物件の重要性や損傷した場合の社会的影響、事故事例などをイラストや写真で説明しています。



(平成16年10月31日現在)

10月の事故速報

発生日時	発生場所	事故の状況
10月4日 17:37	奈良県	高架橋下部工事において、主任技術者が箆鉄筋組立完了の写真撮影中、箆鉄筋と地面に右足を挟まれ、負傷した。 〔主任技術者：右足裂傷 全治14日〕
10月6日 1:55	滋賀県	舗装修繕工事において、片側交互通行規制中、規制区間を走行してきた一般車が車線変更せず直進し、規制車に追突した。 〔物損：規制車 損傷〕
10月7日 13:08	滋賀県	橋梁下部工事において、クレーンでH鋼を吊り上げた際、クレーンからH鋼が外れ、約1mの高さから作業員の右足に落下した。 〔作業員：右足骨折 全治1ヶ月半〕
10月8日 12:10	大阪府	車両管理業務において、業務車で府道を走行中、反対車線のガードラックから出て来た一般車が接触した。 〔物損：業務車 左側面 損傷〕
10月10日 11:24	兵庫県	橋梁下部工事において、50tクレーンで足場解体作業中、ワイヤーが送電線に接触した。 〔影響：約1分間の通電異常〕
10月12日 11:37	兵庫県	道路維持作業において、走行して来た一般車(4tトラック)のサイドミラーが、誘導を行っていた交通誘導員に接触した。 〔交通誘導員：右肩打撲 顔面切傷〕
10月12日 21:55	大阪府	共同溝工事において、一般国道の1車線を規制中、走行してきた原付バイクが、規制車に追突した。 〔物損：規制車 損傷〕
10月13日 23:00	兵庫県	舗装修繕工事において、切削カバー施工内を一般車3台が通行し、通行の際にタイヤで巻上げられたアスファルト片が車体に付着した。 〔物損：一般車 車体にAS付着〕
10月15日 7:30	大阪府	道路整備工事において、一般車同士の接触事故が発生し、一般車が弾みで飛ばされ、工事で設置していたガードレールに接触した。 〔物損：ガードレール 若干の凹み〕
10月15日 10:10	大阪府	共同溝工事において、一般車同士の事故による飛散物を避けようとした歩行者(第三者)が、工事により設置してあった塀に接触し、負傷した。 〔第三者：擦り傷〕

発生日時	発生場所	事故の状況
10月16日 2:30	和歌山県	交差点改良工事において、既設舗装版をカッターで切断中、車道路肩部に埋設されていた情報BOX管を切断した。 〔物損：情報BOX管 破損〕
10月16日 10:00	奈良県	災害復旧工事において、交通誘導員の停止誘導により停止した自転車に、後続の自転車が追突し、後続の自転車運転者が負傷した。 〔第三者：左足大腿部骨折〕
10月20日 22:10	兵庫県	共同溝工事において、走行中の一般車が強風により横転し、その反動で設置してあった保安施設等に衝突した。 〔物損：保安施設等 損傷〕
10月21日 5:00	福井県	地下道設置工事において、工事により仮設してあった信号機等に、走行中の一般車が誤って接触し、逃走した。 〔物損：仮設信号機等 損傷〕
10月21日 8:30	兵庫県	道路清掃作業において、作業車で信号待ちをしていたところ、後続の一般車が追突した。 〔物損：作業車 後部 損傷〕
10月21日 8:50	奈良県	車線設置工事において、走行中の一般車が、工事区間内の既設ガードレールに設置していたネットフェンスや保安施設に接触した。 〔物損：ネットフェンス 5枚等 破損〕
10月21日 19:46	京都府	応急復旧工事において、片側交互通行中、停止誘導により停止していた一般車に、後続の一般車が追突した。 〔第三者：打撲〕
10月23日 11:45	和歌山県	高架橋上部工事において、一般車を迂回路へ誘導中、走行して来た一般車がバリアードに衝突した。 〔物損：バリアード 損傷〕
10月26日 2:00	奈良県	橋梁補修工事において、走行車線を規制中、走行してきた一般車(10tトラック)が保安施設に衝突した。 〔物損：セーフィーコン、矢印板等 損傷〕
10月26日 4:10	兵庫県	道路拡幅工事において、通行規制中、走行して来た一般車が規制区域に進入し、保安施設に衝突した。 〔物損：セーフィーコン、矢印板 損傷〕